



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

8月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

minniUSA711@gmail.com

2016年(平成28年) 8月1日(月)

NO. 180

## 朝の講話

六月五日(日)朝の集いに内田文朗法人局長と高橋哲也研究員をお迎えしました。

高橋哲也研究員に朝の講話をしていただきました。

高橋研究員は三十一歳。研究所に入所して十年になりました。小田原出身。祖父母の代からの倫理家族に育ちました。大学四年のとき、研究所入所許可をもらいました。

課題がたくさん出されましたが、その一つが「翌日から朝の集いに通い、今日の気づきを毎日レポートしなさい」ということでした。近くの実践部は十名位、祖父母の年齢の方々でも可愛がってもらい、いろんなお役の勉強をしました。

冬のある日、大雪でした。いつもより早めに会場に行くのと、自分ひとりでした。一人で掃除をし、会場を整えました。時間になっても誰も来ません。心配になったり、いつそ帰ろうかと思ったりしましたが、本部へレポートがあるので決心して一人で朝の集いを始めました。司会役でベルを鳴らし、輪読は一人で何度も返事をして読み、講話は本

を読み、というふうに進めていきました。誰も来ません。だんだん空しくなってきました。悲しくなってきました。馬鹿馬鹿しくなってきました。でもやると決めたのだから最後までやろうと思いなおしました。

最後の「誓いの言葉」を大きな声で言った時、ふいに涙が出て来ました。胸が熱くなる感動の涙でした。その日、初めて「今日一日、この言葉通りに生きてみよう」という思いがこみあげてきたのです。今まで何と口先だけで言っていたことか、と気づいたのです。その時、心が変わったのです。

この日から、実践の決意を一生の実践にしようと思いついて今日まで来ています。夜、静かに「今日一日、どれだけ実践できたかな」と反省する時間を持つています。それを糧にまた翌日、新たに実践に挑戦するようになります。

講話や実践報告は、倫理をお伝えしようという気持ちで聞くと良いでしょう。受け取る側の心(自分の心)を変えられるだけで様々なものが変わります。自分の心がどうい風かで変わります。

ここでクイズを一つ。

① 『万人幸福の葉』は誰が書いたものでしょうか。

② 『万人幸福の葉』はいつ書かれたのでしょうか。

③ 『万人幸福の葉』は全部で何ページありますか。

④ 『万人幸福の葉』の中に「心」という字がいくつあるのでしょうか。(熟語も含めます)

このように今までと違った意識で読むと今までとは違った『葉』が見えてきます。

高橋研究員が研究所に入所した動機。

祖父の代からの自営業で明るい倫理家庭だった。母は重要な働き手で、我慢していた腹痛がひどくなり病院へ行った時は手遅れの癌だった。

母が亡くなった時、自分は小学校六年生で死が良くわからなかった。中学、高校は母がいなくて寂しい。すねて

「どうせ母がいらないから」とすべて母のせいにしてしまいう無気力な日々を重ねていた。

自分が高校二年の正月に年賀状の中に変ったのが一枚あった。小さな手形が押してありメッセージが書いてある。

## Save the date

十一月十二日(土)

法人会設立式典

十一月十三日(日)

早朝セミナー

丸山敏秋理事長

何と母からの葉書だった。一九八五年に筑波万博があった。母は生後十ヶ月の自分を連れて行ったのだ。そこで十五年後に配達するという「ポストカプセル」に十六歳の自分宛に葉書を書いたのである。母が亡くなってから五年が経っていた。その時はつきりとわかった。魂は無くなってはいない。魂はいつも自分を見ていてくれるんだ。自分は何をしているんだ、がんばらなきゃ、と思った。そして青年弁論大会でそのことを発表した。母が自分の命に替えて私の人生のレールを敷いてくれたんだと自覚できた。

親、祖先は目には見えないが自分の根つこの部分。栄養を吸収して根つことしつかり繋がって、根つこに意識を向けて生きていくことが大切である。

高橋研究員の講話に皆とても感動しました。それぞれ自分の親に感謝です。

## ブラジル訪問記

会長 橋勝雄

ある会員から思いがけないニュースを聞き、今回思い切ってブラジル行きを決心しました。

四十五年前、中南米縦断一人旅でサンパウロに滞在中、お世話になった方が亡くなられたという事で、チャンスがあればお墓参りかお線香の一本でもと思っていた時に、今春ロスにご出張だった伏木久登国際事業部長の「行ってみませんか？」の一声で訪問を決めました。海上自衛隊での「サントス・リオ・レシフェ」寄港、自転車一人旅、客船でも寄港、そして四回目となる今回。なぜかブラジルにはご縁があるようです。

サンパウロに到着後、須郷清孝ブラジル倫理の会会長のご案内でアメリカーナでの勉強会と伏木部長のスケジュールに同行し行動を共にしました。ブラジル人の倫理に対する姿勢、熱意等は伏木部長の講話にも時々出ていて、みなさんの実直な態度は聞いていたので大変興味あることでした。近くに同席してい

て伝わって来るものを肌で感じ、“自分達だけではなく、一人でも多く、この倫理という素晴らしい教えを理解しよう、後々には自分達が普及していかなければこのブラジルは今のままでは良くならないという使命感を持つている”という事を実践体験報告後に聞き、たいへん感銘を受けた次第です。

その二日後にサンパウロに戻り講演会、そして勉強会と通常の日程を終えましたが、新入会員の普及に苦慮している様子。我々にも今後の大きな課題で、若い世代の入会に力を注がなければいけないと痛感させられました。

翌日、予想外のサントスの敬老ホーム慰問でした。サントスは五十年前の練習艦隊での入港以来です。当時の光景は今でも鮮明に脳裏に残っており、岸壁は開港以来五万人という溢れんばかりの人達で埋め尽くされ大歓迎でした。この中に若き須郷清孝氏がいたことがわかり、互いに驚きました。敬老ホームという事で、皆さんと一緒に唱歌を歌ったり、私の落語の小話

を十分程演じたりしました。

それから大志万学園を訪問しました。日本語を学習している生徒さんを集めて伏木部長がゆつくりと話しながら日本での倫理の活動等を説明、そして私の自転車一人旅の話。皆の真剣な眼差しにこちらももついつい熱が入り時間の過ぎるのを忘れてしまいう程でした。生徒さんの礼儀の良さに感服しました。

六日間の出来事を回想しながら“これを機にブラジル倫理の会と南カリフォルニア倫理の会が交流を始める良いきっかけとなれば”と願いつつ搭乗ロビーに向かいました。

ブラジル倫理の会の皆さまには大変お世話になり、心より感謝しております。

海外の倫理の会同士、協力して仲良く倫理の普及をしていきたいと強く思いました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

橋勝雄会長ブラジル訪問のニュースはブラジルのニッケイ新聞に大きな写真とともに掲載されました。須郷清孝会長が郵送してくださいましたので、倫理オフィスにあります。皆さん、

是非ご覧ください。

## 家庭倫理の会大垣訪問

二班 ホン史子

大垣へ行った時に、ホテルから歩いて五分の所にある倫理の会大垣に参加させて頂きました。八幡神宮の社務所をお借りした会場は簡素でした。迎えてくださった会員の皆さんは、すばらしい笑顔で、すぐに温かい雰囲気になりました。

朝の集いは午前五時に始まります。折りたたみ椅子が十五脚ほど並べられていました。進行係りの側に椅子が一脚置いてあり、実践報告者は椅子に座って待ち、前の人が済むと演台に進みます。拍手五回程度の短い距離なので熱血拍手が効いていました。報告者は次々と椅子に来、実に流れの良いものでした。

講師の講話は倫理体験に基づく身近な話でした。一ヶ月の目標、一週間の目標を決め、その実践報告をするのは実に明確でわかりやすいと思えました。

皆さま、訪日の際は地元の倫理の会には是非ご参加ください。



碧の部【1席】 南カリフォルニア 滝川 政和  
 太細がくつきりしていて、細い線も強く充実しています。

永年表彰

六月十九日(日)朝の集いで永年表彰を行いました。ロスアンゼルスに倫理の灯がともされて六十九年になります。永統二十年以上の会員に感謝を込めて表彰状と記念品のマグカップを贈りました。

奥本敏明	四十年
奥本洋子	三十五年
滝川歌子	三十五年
橋本メイ	三十五年
大西健造	三十三年
滝川政和	三十一年

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

羽島照子	二十九年
門田桂子	二十八年
橋本学	二十七年
滝川信子	二十七年
右田郁子	二十七年
鈴木清江	二十六年
滝川 David	二十四年
滝川 Amor	二十四年
滝川 Aron	二十四年
滝川 Jeffrey	二十四年
原 Shirley	二十四年
原 Elise	二十四年
原 Tracie	二十四年
須永昇	二十四年
須永あけみ	二十四年
門園美枝子	二十四年
伊澤潤子	二十三年
橋本ハービー	二十三年
門園実	二十三年
門園重信	二十三年
門園 Judy	二十三年
門園 David	二十三年
梅本豊造	二十三年
梅本和子	二十三年
松永典子	二十三年
摺木洋子	二十三年



山崎百合子 二十三年  
 前田グレース 二十三年  
 住永みつ子 二十三年  
 梅本憲一 二十三年  
 (2015年12月31日締め)

これから毎年、永統二十年に達した会員を表彰することになりました。皆様、倫理運動への貢献、心より感謝致します。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

父の日のお祝い

六月十九日(日)朝の集いで「父の日」をお祝いしました。藤間富士子さんがソックスを見立ててください、男性会員に贈りました。コーヒータイムに、ケーキでお祝いしました。父の日、おめでとうございます

七夕飾りと盆踊り

梅本和子さんの熱心な誘導と皆さんの惜しみの無い協力で期日よりも早く飾りが出来上がりました。梅本豊造さんのアイデアは去年のを上手く利用したものでかわいいです。オフィスでご覧ください。八月半ばに小東京一街に飾られます。

盆踊りは八月二十一日です。皆さん、倫理の法被を着て楽しく踊りましょう。夏の思い出を作りましょう。藤間さんが踊りの指導をしています。



おめでとうございます

『しきなみ』七月号

群蛍集(西東京・海外)

入選 ホン史子

青泉集(中東京・海外)

三席 森田のりえ

亡夫の絵を訪ねし家で見つけたり壁に向  
かいてしばし佇む

『秋津書道』七月号 競書

入選 滝川政和 芸術部(碧の部)

四席 梅本豊造 高等部(東京)

五席 長谷川公子 々々

入選 堀井幸江 々々

入選 咲田静子 々々

六席 立川宏子 一般部(東京) 草書

七席 竹内康子 一般部(東京) 行書

三席 香山幸子 一般部(東京) 楷書

九席 井上郷子 々々

承知し  
お家

南カリフォルニア

梅本豊造

4席 梅本 豊造

バランス良く筆がよく動  
いています。

日月星  
運春夏

南カリフォルニア 香山 幸子

3席 香山 幸子

余白が美しくすっきりし  
ています。

日月星  
運春夏

南カリフォルニア 井上郷子

9席 井上 郷子

調和体

一席 滝川政和 芸術部(碧の部)

しきなみ短歌

廃屋の床を突き抜けし竹の子の取る人な  
きを知る里帰り 森田のりえ

始まりは小さな声でささやかれいつしか  
皆を動かして行く 草野律子

庭園業夫の仕事は一年中冬は霜降り夏灼  
熱の中 摺木洋子

幾重にもたちこめる雲のすきまからのぞく満月  
紫に光る 松元依子

ごうごうと鳴る滝の音山々の雪解水の春の滝な  
り 滝川歌子

亡き夫の裏庭に植えしひと本の柿の若葉の天に  
広がる 杉野和子

ふりむけば絆余曲折の人生に花は生きんとひた  
むきに咲く 長谷川公子

コービーのイタリア語でのインタビュー胸に湧  
きたつ感嘆符たち 伊澤潤子

ベルが鳴る「開始二分前」始まるぞはりつめた空  
気心地良い緊張 飯田隆

今までの最高守備のオリビアに娘夫婦は抱きつ  
きほめる 梅本豊造

夫と共ジャカラダ咲く散歩道ゆるり歩みつ  
会話は弾む 梅本和子

笑みながらなる様にしかならないと論して下さ  
る遺影の母が 門園美枝子

長年を望みしハリウッド観光を果たして夫は渋  
滞も笑顔 ホン史子

墓石が向きを変えたと姉は言う「また余震ばい」  
声の高ぶる 松永典子

街並みに淡い紫ジャカラダロスで感じる季節  
の花よ 尾崎よしみ

初夏の山探せば千とある道は輝くみどり驚きの  
蔵 武田ゆき

朝起きて青春時代の音楽を聞き入り今日も元気  
で生きる 与那覇寛雄

帰宅すれば娘は妻を促して「ハッピーバースデー」  
と歌いくれたり 甲斐靖幸